冬期農業基本調査に協力を

卒直な実態／合理的農業政策のために

二月一日現在で秋田県農林統計冬期農業基本調査が行われます。

この調査は、農家の経営構造を内外から把握することによつて、県や市の農業政策を科学的に打ち出し、農家経営を改善合理化し、農業を発展させるための重要な基礎資料とするものであります。

この調査の対象となる農家は田畑、樹園地などを合計した経営耕地の面積が一反歩以上あるもの、或は一反歩未満であつても耕種、養蚕、養畜などによる農業生産物の販売額が年間を通じて二万円を越えるもの（例外規定農家という）であります。

この調査は毎年繰り返して行われておりますので農家の方々の中には、或は毎年同じものを!!とお考えになられることもあると思いますが、しかし決して、全部が全部前年同様ではないのでありまして

これによつて、秋田県農業なり、大館農業というものの変化或はその動向が適格に把握できるのでありますから、

間違つた解釈による調査や己意にユガめられた結果を生み出すようなことがあつては莫大な経費と時間と労力をかけたことの損失よりも、それによる非現実的農業政策はすべて農家の皆様にマイナスの結果となつて反復されることになるわけでありますから、

こうした事実を農家の皆様が意識していると、いないとに係らず、大変な心違だといつて過言でないのであります。

国が、県が、そして市が、実情に則した合理的な施政を行うためには、その一つ一つを適格詳細にまとめあげた統計、即ち実情を知ることに始まるので、この実情を為政者や、将来に誤り伝えることのないように、さらには統計調査は為政者に対する個々の意向即ち、その実情を伝えるよい機会であるということに深い理解を得たいと思います。

〃統計なんて当にならない〃

調査する立場、或は調査される立場において、そのような見方、考え方、行い方を強く反省しなければならないと思います。ともあれ、この冬期調査は農業政策上の貴重な資料とするため大館市では百三十二名の調査員によつて各農家を訪問調査するものでありますから、農家の理解ある御協力を切にお願いいたします

〃新成人は〃

選挙をこう見ている

本年一月、市選挙管理委員会で行つた選挙に関するアンケートの結果がまとまつたので、そのあらましをお知らせいたしましよう。

調査は新しく成人になられた方々の中から無作為に八五〇人を抽出して行いましたが回答は三四四名で四〇%、これは前年の三〇%に比して一〇%高くなつています。

回答者の構成について見ますと、性別では男二〇五人、女一三九人、学歴別では中卒一七四人、高校卒以上一七〇人、職業別では勤労者、農業者がそれぞれ一一〇人、商業者が四五人、無職及び学生等（以下「その他」という）が七九人となつています。

▼基本選挙人名簿について

①いつ作られるか

「毎年と理解しているものが五六%で過半を占め「選挙の都度」（四年ごとに）と誤解しているもの約三三%「わからない」と答えたものが約一一%となつています。しかし名簿に対する理解が前年より二%の向上となつています。

②どこで見たか

名簿の縦覧は前年より僅かに多く、回答者の三七%が見ていることになりますが、どこでみたかについては、町内でその写を見たと答えた者が多く向後の参考となつています。

総じて名簿に対ずる理解の度合は、性別では女、学歴別では高校卒以上、職業別では勤労者、学生無職者、農業、商業の順となつています。

▼従来の選挙は公明に行われたと思うか

「行われた」と答えたもの一六%「行われない」と答えたもの七六%で前年より一二%多くなつており、行われない理由として「他人から聞いた」四六%「実際に見た」三一%と、きびしい批判のほどを示しています。

また「わからない」と答えたものは前年の二〇%に対し僅かに七%となつています。

▼投票の重点はなにか

候補者の「党や所属団体」を重点として投票する者三一%「人がら」六九%で、前年とほぼ同様ですが「他人からきいて」と答えた者も〇、六%いた。

▼現行の七つの選挙区の数は適当か

「現行通り七つがよい」五七%「もつと少くせよ」三三%（内一つに二四%、二つに二%、三つに五%、四つに一%）「わからない」九%のようになつています。

今年は犬年、大館市のあたり年とあつて、一中講堂で行われた新年祝賀名刺交換会には、市民各層から多数が参会、にこにこの初顔合せをしました。

この日は郷土の大臣石田さんも出席、中央政治の状況報告やら飛躍的な発展の歩を刻む市と市民へ、力強い年頭祝賀の挨拶をおくりました。

（写真は挨拶する石田労働大臣）

新入学児童をもつ父兄の方々へ

新しい年をむかえるとともに新入学児童の身体検査を行いました。これは入学前に、お子様がどこか悪いところがないかを診てもらつて、入学前になおしていただきたいために行うものです。

学校は集団生活の場ですから伝染病なんかをもつていると大勢の人々に迷惑をかけるので、事前に検査を行うことにしています。特にトラホームや皮膚病などは入学前になおすようにさせて下さい。

次に入学に際して二、三の点を申上げますと

1　入学式について

入学式は市内各小学校とも四月二日午後一時です。

始めて校門をくぐる晴れの日でもありますので、家の人方も入学式当日だけは一緒について行つてやつて下さい。

2　教科書の購入について

学校によつて教科書が違うので、値段も、それぞれ一様でありませんが、大体三百七十円程度です。

販売については、教科書の入荷の都合で次のように行うことになりました。

▽旧市内の学校分は三月十日頃、田山店で店頭販売

▽上川沿小、二井田小、杉沢小は三月十日頃扇田松屋商店で店頭販売

▽成章小は二月末頃学校で出張販売

▽その他の学校では、入学式（四月二日）当日田山書店が出張販売することになつてい[illegible]

3　学用品について

一年に子供さん方が入るために何もかも新しいものを買つて門出を祝おうという親心はわかりますが、兄さん姉さん方の使つたもので間に合うものは出来るだけそれを使わせて下さい。

ただ学用品は年々よいものが出ておりますので、入学式後先生方のお指図にしたがつて下さい。ランドセル、ズツク靴、筆記用具などは入学前に用意して結構ですが、ノートは入学後先生方の言うものを買つて下さい

4　保育について

学校によつては入学前に集団生活になれさせるために何日間か保育をしていますがそれには是非参加させて下さい。

学校の入口、便所など学校の様子もわかるし、こどもさん方が学校に早くなれるよい機会だと思います

5　入学前にこれだけは……

自分の名前をよめるようにしていただきたいことです

又持ち物には全部なまえをかいていただきたいことです。

名前をよめれば下足箱もまちがいませんし、自分の机もわかりますので、ひらがなで自分の名前をよめるようにしていただきたいと思います。

あとのお勉強は学校に入つてから先生方が教えてくれますので、決して心配はいりません。

歳末たすけあい運動

収支決算十一万四百円

昨年十二月一日から同二十五日まで、市社会福祉協議会が行つた歳末たすけあい運動に寄せられた金品の収支は次のとおりであります。

▼収入の部（単位円）

①のど自慢収益金七四三六〇

②東映館による収益四九八〇

③桂高校学生自治会寄附金五七九一

④一般寄附金一三六〇〇

（主出一雄さん一〇〇〇〇、真中加藤巡査三〇〇〇、神林直樹さん五〇〇、畠山優子さん一〇〇）

⑤市社会福祉協議会より一一六六九

収入合計一一〇、四〇〇円

▼支出の部

①全県才末たすけあい寄附金五〇〇〇（のど自慢収益割）

②被保護世帯に対する配分八五〇〇〇（世帯数三四〇、一世帯当二五〇円）

③被保護単独者に対する配分一三二〇〇（人員四四、一人当三〇〇円）

④被保護長期療養者に対する配分七二〇〇（人員二四、一人当三〇〇円）

支出合計一一〇、四〇〇円

なお被保護世帯に対する配分方法は、地区民生委員の総意により現物に換えて配分したものもありますから御了承下さい。

また、この運動に卒先御協力を賜つた方々に対しましては本紙上をもつて厚くお礼申上げます。

造林用苗木 申込は早目に

（価格改訂）

大館市森林組合では、この春の造林用苗木の斡施をしていますが、需用期では間にあわない実情でありますので早目に申込れるようのぞんでいます（森林組合は林政課内）

なお苗木の価格が次のように改訂されました。

▽スギ二年生＝特大三円七五銭、大三円四〇銭、中二円五五銭小一円六〇銭

▽スギ三年生＝特大六円、大五円、中四円五〇銭、小四円一〇銭

▽アカマツ二年生＝大二円九〇銭、小二円一五銭

▽アカマツ三年生＝大三円二〇銭、小二円三五銭

▽カラマツ＝大三円、中二円五〇銭、小二円一〇銭。

タバコ消費税は市の有力な収入です
お買い求めは是非市内のタバコ店で

赤ちやんコンクールと 乳児集団検診

五月五日は「子供の日」、全国優良赤ちやんの表彰を行います。

そこで、市では乳児の集団検診をかねて、一月下旬から二月上旬にわたり、赤ちやんコンクール大館市予選を行うことになりました。このコンクールの対象者は昭和三十二年一月一日から同年十二月三十一日までに生れた赤ちやんです。予選通過者には市長賞及び記念品を贈ります。

多数優良赤ちやんが出られるよう係では[illegible]ています

冬の事故を防ごう

昨年は近年にない大雪であつたが雪による事故は（県内統計）発生八件、死傷者九人で、雪の少なかつた一昨年と比べて件数で十件、人員では六人とそれぞれ少なくなつています。雪の少ない今年は事故の多発が予想されますから油断による事故をなくするため次の注意をいたしましよう

1 軒下で子供を遊ばせない

2 登山するときまた舟を出そうとするときは気象をよくたしかめる

3 猛吹雪のとき不急の外出はなるべくさける

4 寒さしのぎの酒から凍死するものもあるから酒に酔つたら一人歩きは絶対やめる

5 雪により溢水する場所は事前によく対策をたて丶おく

6 市街地での子供達のスキーや、スケートは自動車、ソリなどの事故の原因になるから遊場には充分注意し、往来のひんぱんな路上では絶対遊ばせない

7 屋根の雪は無理のかからぬうちにおろすように

8 ガケ下や山スソにある住家で、とくにガケくずれや、なだれの気ずかいのあるところでは安全なすまいができるように工夫する

9 暖気の日好天で雪が解けた日など南向の斜面にあたる山の下の通行には特に注意する。

又スキーによる山岳征服は魅力的であるが、危険を伴うものであるから次の点をよく心掛ける

1 冬の天候は急変することが多いから必ず案内人をたのみ、数人で行動する

2 疲労と空腹は遭難のもとである

3 行動には無理しないよう、少くも日没の二、三時間前に目的地に着くようにする

4 食糧は余分に携行し間食を多くする

5 防寒と防風に適した衣服を使用し体温の放出を防ぐ

—⑧—　「休」とは仕事はもつているが病気、その他の理由で調査期間中なにもしなかつた者「探」とは仕事がなく，積極的に職を探していた者「非」とは仕事もせず，仕事をもつて休んでもいず，職も探そうとしていないもので老令者，病弱者，その他仕事をする必要のない者などであります。

世帯主の職業による産業別世帯数及び人口

昭和30年国勢調査

区分		農業	林業狩猟業	鉱業	建設業	製造業	卸売小売業	金融保険業	運輸通信其他	サービス業	公務	無業	計
大館	世帯	379	73	95	411	869	1.126	106	654	863	297	287	5.160
	人員	2.570	320	480	2.061	4.574	6.047	436	3.345	4.112	1.241	719	25.905
釈迦内	世帯	504	9	53	76	162	84	4	132	82	23	10	1.139
	人員	3.458	47	337	410	875	423	24	733	418	154	20	6.899
長木	世帯	339	119	13	23	47	26	—	65	20	18	7	677
	人員	2.448	634	87	115	258	145	—	403	86	117	22	4.315
上川沿	世帯	324	4	2	23	22	26	2	15	16	13	7	454
	人員	2.216	17	10	142	118	132	15	91	77	72	15	2.905
下川沿	世帯	340	25	6	33	46	33	2	49	30	21	10	595
	人員	2.146	124	38	150	278	147	6	264	165	117	27	3.462
二井田	世帯	422	4	1	9	8	25	1	10	22	10	6	518
	人員	2.971	19	8	57	42	136	8	67	122	62	11	3.503
真中	世帯	328	2	1	9	10	12	—	4	17	13	2	398
	人員	2.176	8	6	66	51	72	—	29	86	78	9	2.581
十二所	世帯	526	22	83	51	52	92	1	50	133	28	40	1.078
	人員	3.553	131	466	232	205	457	4	243	699	136	94	6.220
計	世帯	3.162	258	254	635	1.216	1.424	116	979	1.183	423	369	10.019
	人員	21.538	1.300	1.432	3.233	6.401	7.559	493	5.175	5.765	1.977	917	55.790

註　本表は世帯主の職業の属する産業に世帯の格付けを行い，その世帯員を人員欄に積算したものである。但し世帯主に職業がない場合は，その世帯員中の有業者を世帯主に近い続柄順に採用し同様格付けを行つたものである。